

ルミエールケア からの

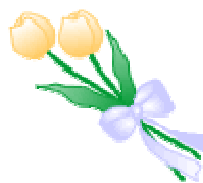
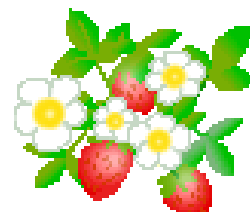
エール!!

平成 21 年 4 月 1 日

春号

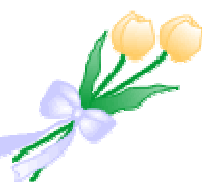
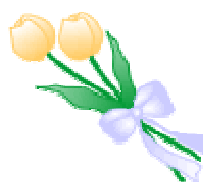
(第 18 号)

有限会社 ルミエールケアサービス
大阪市中央区谷町3丁目1-11
大晋ビル303
代表取締役社長 山本さと子
電話 06-6949-3729
FAX 06-6949-3776



目 次

- | | | |
|----|----------------------------|----|
| 1、 | 感染症の予防と理解 | 1 |
| 2、 | 平成 19 年度介護労働実態調査結果報告書 | 3 |
| 3、 | 利用者とのコミュニケーション作り | 5 |
| 4、 | 介護シリーズ
一衣類の選び方と着脱準備一 | 6 |
| 5、 | 口腔ケア | 7 |
| 6、 | 寄稿
「介護の大変さより共に生きる喜びを実感」 | 8 |
| 7、 | 平成 20 年 事業報告 | 9 |
| 8、 | 個人情報保護・編集後記 | 10 |



感染症の理解と予防

高齢者の介護にあたり、日常遭遇する感染症の基礎知識と予防・対処方法

1、感染症の理解

日本での感染症は、抗生物質の普及や栄養状態の向上、衛生状態の改善等によって大きく様変わりをしてきています。感染は病原体が宿主（感染を受ける人）にいたる道（感染経路）があって成り立ちます。

細菌、ウィルス、スピロヘータや寄生虫など病気を引き起こすもとなるものを病原体といいます。

感染がおこってから、症状が出るまでを潜伏期といいます。病原体によって潜伏期はことなりますし、宿主の状況によっては発症しないこともあります（不顕性感染）。



～感染症を予防するには？～

- ① 病原体をなくすこと
- ② 感染経路を断つこと
- ③ 宿主の抵抗力・免疫力をつけることです。

※感染症患者が出た場合は、次の患者を出さないように、またホームヘルパー自身が感染しないように気をつけます。

2、高齢者におこりやすい感染症

一般に高齢者では病原微生物に対する免疫能の低下することが知られていますが、感染に抵抗力が弱い臓器から発症していきます。

また、発熱、咳、腹痛などの一般的な感染症の症状がはっきり出ずに、代わりに食欲低下、動きが鈍くなる（無動）、失禁、意識障害などの症状が出ることもあり、注意が必要です。

（1）日和見感染

日和見感染は、病気の名前ではありません。通常ならば発症しないような、弱毒病原体による感染のことをいいます。

宿主の側の抵抗力が落ちているとき、例えば、大きな手術後、がんの末期状態にある場合、免疫抑制剤を使っている場合、エイズ患者、高齢者などで発症します。

弱毒病原体は、どこにでもいるような微生物で、すでに宿主のなかにいることが多く、宿主の抵抗力が落ちたときに発症します。緑膿菌、MRSA、カリニ肺炎、カンジダ症などがこれにあたります。

(2) MRSA

MRSAは、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌の略号です。この細菌は、空気中のどこにでもいる病原性の弱い菌ですが、抗生物質に対して強い抵抗力があり、抗生剤が効かない菌です。皮膚や鼻、気道の粘膜から感染します。

病原性が弱いので、通常発症することがないのですが、抵抗力のなくなっている人、例えば大手術のあと、免疫不全の患者、高齢者では、上気道炎、尿路感染や褥瘡への感染にはじまり、重症の肺炎などを引き起こします。

MRSAは、病院内感染の原因菌としても注目されており、感染予防が大切です。予防として部屋を清潔にすること、患者と接する前後の手洗いが大切です。

感染がわかっている場合は、介護者自身がその菌をほかに伝染させないように注意が必要です。

3、感染症への対応—正しい予防法を—

感染症は病原体が引き起こしますが、

- ① 病原体が人から人にうつるもの
 - ② 虫から人にうつるもの
 - ③ 空気中にいて人にうつるもの
- などがあります。

人から人にうつる場合でも、うつり方（感染経路）にいろいろあります。直接接触によるもの、血液を介するもの、性行為によるものなど、それぞれの病気によって違ってきます。

感染経路がわかっている病気は、そこで予防ができます。うつるからといって、むやみに怖がらず、正しい予防法をとることが大切です。



～ まとめ ～

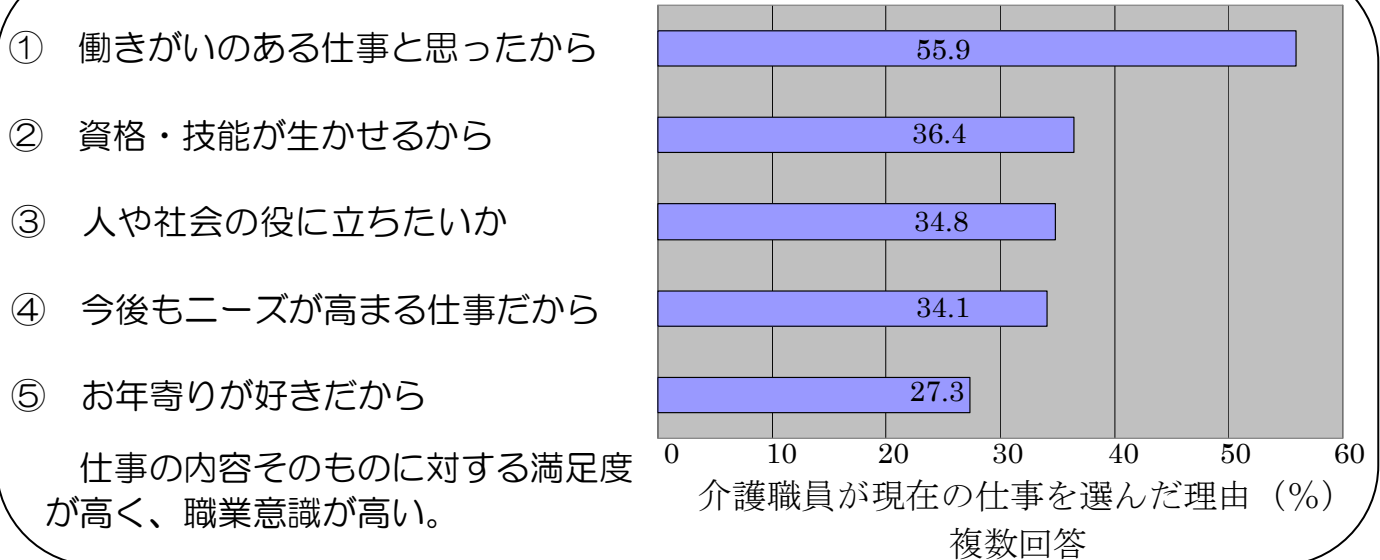
介護の場でよく遭遇する感染症について知識をまとめましょう。そして、感染症にどのように対処するか、また、介護者が感染症をどのように防ぐか、どうしたら二次的に感染症をうつさないかが重要です。さらに詳しく知りたい場合は医師の指導を受けたり、家庭の医学書や参考文献などで学習しましょう。

介護労働安定センターホームヘルパー2級課程テキストから抜粋

平成19年度介護労働実態調査結果報告書

(1) 働きがいを求めて入職

● 介護職員が現在の仕事を選んだ理由



● 介護職員の現在の仕事の満足度（プラス項目）

介護職員が現在の仕事の満足度 D. プラス項目 (満足+やや満足) - (やや不満+不満の場合) (ポイント)
① 仕事の内容・やりがい (44.8)
② 職場の人間関係、コミュニケーション (28.6)
③ 職場の環境 (18.2)
④ 雇用の安定 (8.0)

(2) 仕事への不安、悩み

「賃金」に対する満足度が最も低い。次いで「教育訓練・能力開発のあり方」「人事評価・処遇のあり方」となっている。

● 介護職員が現在の仕事の満足度（マイナス項目）

介護職員が現在の仕事の満足度 D. マイナス項目 (満足+やや満足) - (やや不満+不満の割合) (ポイント)
① 賃金 (▲29.6)
② 教育訓練・能力開発のあり方 (▲14.2)
③ 人事評価・処遇のあり方 (▲13.1)
④ 福利厚生 (▲8.5)
⑤ 労働時間・休日などの労働条件 (▲3.4)
⑥ 勤務体制 (▲1.3)
⑦ 職業生活全体 (▲0.5)

- 介護職員の悩み、不安、不満の解消方法
「介護能力の向上に向けた研修」が最も高く、次いで「介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入」になっている。

介護職員の悩み、不安、不満などの解消方法（％）
① 介護能力の向上に向けた研修（48.0）
② 介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入（31.7）
③ 介護能力を適切に評価する仕組み（28.8）
④ 勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定（27.0）
⑤ 働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定（25.6）
⑥ 実務の中で、上司や先輩からの指導や助言を受ける機会の設定（23.6）
⑦ 介護の関する事例検討の実施（23.4）
⑧ 事故やトラブルへの対応マニュアル作成などの体制づくり（23.2）
⑨ 介護能力に合った仕事への配置（23.0）

《定着策の具体例》

- (1) 成長が実感できる教育の仕組み
- (2) 初期の不安・不満を解消するコミュニケーションの仕組み
- (3) 目標・キャリアパスを描きやすい仕組みを作る
- (4) 女性が働き続けやすい仕組みを作る
- (5) 認め、認められる組織文化を醸成する
- (6) トップの理念や方針を現場に浸透させる
- (7) マネージャーのマネジメント力、部下指導・支援力を養う

介護職員は、「仕事の割に賃金が低く、生計に不安がある」という理由が離職の原因としてよくあげられている。介護職員の不安や不満の原因を理解することで、離職への働きかけを早い段階で実施することで介護職の継続が可能となる。介護職員のストレスと不安は良好なコミュニケーションを保つことでストレスは軽減できます。

介護職員のストレスや不安の少ない働きやすい職場環境づくりでは「YOUメッセージ」を提案します。

YOUメッセージとは相手の存在・行動・結果そのものをそのまま伝えること。例えば利用者から聞いた「よかったこと」「感謝されたこと」を本人にそのまま伝える表現です。褒められ、認められることは「やりがい」につながります。新年度を迎え、新鮮な環境づくりを目指していきましょう。

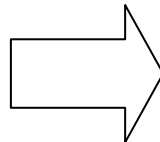
(財) 介護労働安定センター 大阪支部 能力開発アドバイザー・基礎研修担当 黒岩 裕子
資料：「平成 18 年度 介護労働者の就業実態と就業意識調査」 介護労働安定センター
「平成 19 年度 介護労働者の就業実態と就業意識調査」 介護労働安定センター

利用者とのコミュニケーション作り

～訪問介護員養成講習（２級）受講生の訪問実習から～

昨年１２月、（社）大阪府シルバー人材センター協議会が実施している訪問介護員養成講習受講生（３２名）の訪問実習（２日）を受け入れ、その際実習先に「実習に当たって困ったこと」を尋ねたところ１９名（約６０％）が利用者との対応に課題！

- ① どのように対応していくのか？
- ② きっかけ作り
- ③ 共通の話題を見出すのに
- ④ 話のチャンスがつかみにくい
などが主な回答内容となっていた。



- ① 利用者の話に耳を傾ける（１８件）
- ② 利用者の会話のペースに
合わせる（１１件）
- ③ 利用者の目を見て話す（３件）
- ④ はっきりした言葉で話す（７件）
などにおいて難しさを体験したという

利用者とのコミュニケーションづくりの難しさが報告されていた。

○ 利用者・家族とのコミュニケーションづくり

介護者のさまざまな動作や視線は自分自身が気づかないうちに、利用者（相手）に何らかのメッセージを伝えているものです。

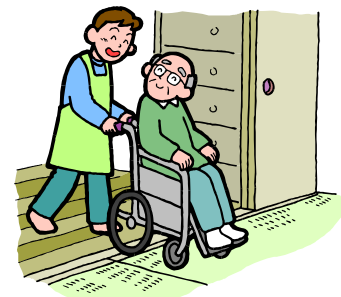
介護者の動作や視線は、利用者とのコミュニケーションにおいて大変重要な事項です。

ことに利用者の社会的・文化的な諸背景なども十分考慮したコミュニケーションづくりが必要です。



〈コミュニケーションのポイント〉

- ① 利用者と正面から向き合う（対面）
- ② オープン（リラックス）した姿勢
- ③ 利用者へ少し前かがみになる（傾ける）
- ④ 適切に視線（目）を合わせる
- ⑤ リラックスして話を聴く（傾聴）



◎多くの言葉よりも、視線を合わせた一言、背に触れた手の温かさ、相手を思う姿勢、体全体の雰囲気などによって、利用者はあなたの気持ちを感じとることができるものです。

—衣服の選び方と着脱準備—

寢床で過ごすことの多い人でも、起床時や就寝時に着替えることにより生活のリズムをつくりだすことができます。

また、衛生面や社会的・精神的な側面においても、衣服を整えることは大切な意味をもちます。

○ 機能

- ① 衣服は汗や汚れを吸い取り、体温調整を円滑にして身体を保護します。
- ② 清潔な衣服を身に着けることにより、皮膚の生理機能を正常に保ちます。
- ③ 汗や汚れによる臭いや皮膚への刺激を防ぎます。
- ④ 湿気や汚れのある衣服は最近が増殖し、二次感染の原因となります。

衣服の機能を生かすためには、身につける衣服がつねに清潔である必要があります。寢床で過ごすことの多い人でも、それは同じです。

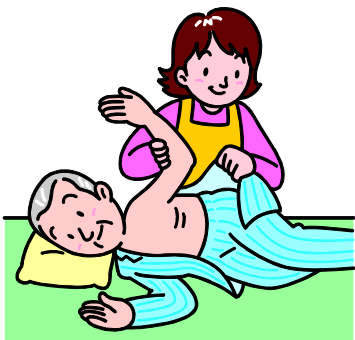
状況に応じて清潔な衣服に着がえることで、生活にリズムが生まれ、明るく楽しい気分であることができます。また、積極的に人と話すようになり、社会性を取り戻す機会にもなります。

○ 衣服の選び方のポイント

- ① 身体の状態に合わせ、着心地のよいものや着脱しやすいものを選びます。
- ② 本人の好みを尊重します。その際、衣服の機能が阻害されないか、危険がないか介護者は留意します。
- ③ 身体の動きや活動を妨げないものを選びます。
- ④ 大きすぎる衣服は動きづらく、また衣服にしわがでやすいので褥瘡を引き起こす原因にもなります。



○ 着脱の準備



- ① 寒い季節には部屋を暖めて着がえる環境を整えましょう。着がえる衣服や介護者の手も温めます。
- ② 着替えの必要性を本人に伝えて同意を得ます。
- ③ 排泄の有無を確認します。
- ④ 身体が汚れている場合は清潔にしてから行います。
- ⑤ プライバシーに配慮し、カーテンを引いたり、スクリーンやタオルケット、バスタオルを用意します。

これから梅雨、暑い真夏を迎えることとなります。季節や気候、利用者の体調など、環境や状況等にあわせた衣類の準備に配慮しましょう

口腔ケア

—義歯の手入れ—

口腔には、食べ物の残りかすや雑菌が多いので、ほっておくと虫歯がひどくなったり、歯周病になったりします。また、口臭のもとにもなりますので口腔内は、常に清潔にしておきましょう。今回は特に義歯の扱いについて特集しました。

義歯の手入れと保管

①はずし方

上顎は親指と人差し指で支え、軽く上下に動かして取り、下顎はそっと取り出します。

②はめ方

上顎は前歯を持ってそっと入れます。下顎は左右に動かす。

③磨き方

歯磨き粉をつけて、義歯、義歯間、歯肉部をブラッシングします。
流水でよくすすぎましょう。

④保管

水または、洗浄剤をいれた水の入った蓋のついた容器に入れておきます。
濡れていないとはめにくなります。



※ 紙に包んだり、そのまま引き出しに入れたりしないように気をつけましょう。
不潔になったり紛失や破損の危険になったりすることがあります。

義歯の荒い方



☆ 水で洗う場合 ☆

- ① 流水で、歯ブラシを使ってきれいに汚れを洗い流します。
- ② 歯と歯の間や内側も丁寧に洗います。
部分入れ歯は、金具もきちんと洗いましょう。

☆ 洗浄剤を使う場合 ☆

- ① 流水でよく洗います。
- ② コップや容器に水またはぬるま湯（60度以下）を入れ、洗浄剤を入れます。
- ③ 入れ歯をいれ5分程度浸します。一晩浸すとより効果があります。
- ④ 洗浄剤に浸した後は、流水でよくすすぎます。毎日行くと効果が増します。

〈寄稿〉

「介護の大変さより共に生きる喜びを実感」

社団法人 大阪市シルバー人材センター訪問介護事業所
吉岡 保

シルバー人材センターに入会してから早いもので、気がつけば3年目を迎えています。ちょっとした出会いから、シルバー人材センターの訪問介護事業に誘われて、この事業を引き受けたものの、将来の発展など叶わぬ夢だと思っていました。しかし、多くの人との出会いを大切に、前向きで信じて挑戦したことで、夢も叶うものだとは少しは満足もしています。

「人との出会い」の中で、私の想像を超えた世界が広がってき、思い切った環境の変化で大きな転機が人生を変えろと思いました。そして「身の置く環境」というのはすごく大切なことだと実感しています。

介護事業につくまでは、商いや与えられた業務を自らの責任の中でやってきましたが、一人で出来ることは限られています。人間は多くの人との関わりの中で成長するということを考えれば「環境」というものは大切だなと改めて思いました。

なかなか一步を踏み出せないこともあり、「環境が変わる」というのはマイナスの想像力が働くと思います。しかし実際に動き出すと何事も心配する程のことはありませんでした。この事業に携わるとき、「なんだ年寄りか」なんてと指をさされることも考えましたが、動き出せば必ず「プラスの要素」が生まれてきました。他人の批判や意見を聞いてばかりでは、自分を狭める可能性も出てきますし、頭を固くして、かたくなになることはもったいないと思いました。動き出すことが夢に向かって進んでいくパワーの原点と考えました。

発足した頃は利用者や介護職員が少なく、しばらくは挫折などを味わい報われない日々もありました。自分は「こうなりたい」「そうしたい」という気持ちが強くなることで、周囲から「もう年なのだからやめとけよ」との意見もありました。しかし、実践を大切にしてきたことが、多くの利用者から喜ばれる要因になっていると思います。

「動こう」「動かなくては」立ち止まってははいられない。ある程度考えたら、頭の中で考え動くこと、「人との出会い」を通して、自身の想像を超えた夢が叶うことで世界も広がる。利用者や介護員と前向きに明るい話題を多くの人達に提供することで共感し、相手も楽しくなるような「プラスの話題」を心がけていきたいものです。

難しいことですが、「そうありたい」を常に願い続けて、日頃の生活が少しでも豊かになればと念じつつ、目の前の仕事を一步一步積み上げ、今後も大きな夢が叶うまで牛のように歩いていくのが最も大切なことではないでしょうか？

平成20年 事業報告

I 社報エールの発行（約200部）

定期発行（年4回）

4月	14号	主なテーマ	後期高齢者医療制度・成年後見制度
7月	15号	主なテーマ	介護基礎研修について
10月	16号	主なテーマ	健康管理 「介護疲れを予防しよう」
1月	17号	主なテーマ	労働契約法のポイント

〈特集号〉

冷蔵庫と食品管理、予防の3原則

エール別冊 栄養情報の発行（200部）

定期発行（毎月10日） 21号～30号

II 労働契約法等普及推進セミナー開催

大阪府中小企業団体中央会が中小企業事業者を対象に実施しているセミナーを開催しました。

日時 平成20年11月5日 13:00～16:00

場所 たかつガーデン

テーマ

- 労働契約法時代の労務管理のポイント
- 障害者雇用納付金・助成金制度について

参加者・・・21名

III 訪問介護員要請講座同行訪問研修生受け入れ

短期大学 1校 15名

社団法人 1団体 32名

IV 人権研修への参加

○ 大阪市企業人権推進福祉協議会 中央支部（H20. 7. 4）

○ 平成20年度 企業トップクラス研修会（H21. 2. 13）

V シニアワークプログラム事業

シニアを対象とする就業支援セミナー研修会、実技実習・講師等の事業協力を実施（事業協力内容）

○ハウスクリーニング

○介護事業への就業の心得

○研修 人権と個人情報

○高齢者の介護と人権

○高齢者介護事業の現状と課題

○接遇

○大阪府シルバー人材センター協議会主催 管下センター職員研修 他

介護と個人情報保護

「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日、その他の記述により特定の個人を識別することができるものをいう。

「個人に関する情報」は、氏名、性別、生年月日等の個人を識別する情報に限られず、個人の身体、財産、職種、肩書き等の属性に関して、事実、判断、評価を表すすべての情報であり、評価情報、刊行物等によって公にされている情報や、映像、音声による情報も含まれる。

秘密保持

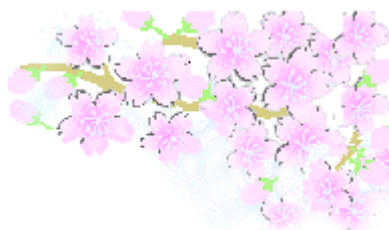
ホームヘルパーは業務上知り得た利用者の秘密を他に漏らしてはいけません。また、利用者が知られたくないと思っていることもあるため、執拗に聞きだしたりしないようにしましょう。だれが聞いているかわからないときの会話には特に気をつけなければなりません。

ホームヘルパー募集！！

まずはご連絡ください。

TEL 06-6949-3729

有限会社 ルミエールケアサービス
担当者 山本まで



編集後記

- まもなく郊外に新緑を求める季節となります。皆様いかがお過ごしでしょうか
- 今回は2名の方からの寄稿を掲載しております。ご協力頂きありがとうございます。
- 今後も社報「エール」並びに「エール別冊 栄養情報」の充実に努めます。ご愛読のほどよろしくお願い致します。

ご意見・ご要望がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

発行・編集

有限会社 ルミエールケアサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町3丁目1番11号
大晋ビル3階 303号

TEL 06-6949-3729

FAX 06-6949-3776

URL <http://www.lumiere-care.com/>

E-mail lcs3105@chive.ocn.ne.jp